

研究課題名	集中治療室におけるせん妄予防のアセスメントシート、看護ケアプランを導入する前と導入した後のせん妄発症率の比較と今後の課題
実施責任者	所属・職名： 5南病棟 主任看護師
	氏名： 運天 匠
研究の概要	<p>せん妄とは入院されることで急に環境が変わったり、病気やつらい症状などのストレスで一時的に落ち着きが無くなる、怒りっぽくなる、時間・日付、場所がわからなくなるという症状が出ることをいいます。</p> <p>集中治療におけるせん妄は人工呼吸器をつけている期間・集中治療室滞在期間・入院期間の長期化、認知機能障害などを引き起こします。集中治療を受ける方は、身体・精神的に大きなストレスが加わることからせん妄のリスク因子を多く持ち合わせており、予防的な介入や早期にせん妄から脱するためのケアを必要とします。当集中治療室ではせん妄を予防し、より早い社会復帰やストレスの少ない環境を提供することを目標としています。そのために、患者様に提供する看護ケアに統一性を持たせ、せん妄予防アセスメントシート導入前後の比較を行い、せん妄発症にどのような影響があったのか調査します。</p>
対象となる個人情報	電子カルテシステムより年齢、性別、痛みの程度、使用した薬剤の種類、せん妄発症の有無などの情報をお収集します。看護ケアに統一性を持たせた、せん妄予防アセスメントシート導入前後の比較を行い、せん妄発症率について調査します。この内容には氏名・住所といった個人を特定できるような情報は含みません。
実施の期間	西暦 2019年 5月 1日より
	西暦 2020年 7月 31日まで
研究対象	当院 集中治療室に入院された患者様が対象となります。